

水質汚濁物質排出量総合調査について

はじめに

この調査は、水質汚濁防止法に定める特定施設を有する工場又は事業場における水質汚濁物質の排出実態を把握することにより、水質汚濁防止法施行上の基礎資料を得ることを目的とするもので、環境省及び経済産業省が実施するものです。

次の記入要領に従って調査票に記入の上、下記期限までにご回答くださるようお願いいたします。

なお、回答いただいた個別の調査票の内容は秘密扱いとし、調査票を外部に公表することはいたしません。しかしながら、報告されたデータをもとに各特定施設分類や産業分類毎にデータを集計し、その集計結果を調査結果概要として公表致します(平成15年度調査については既に環境省HP上に公表しております)ので、報告される内容は正確に記入して下さい。

なお、この公表資料から個々の事業場の特定は不可能ですので、ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

また、今回の調査により報告されたデータを根拠として、法に基づいた罰則の適用されませんので、各事業場の正確なデータをご記入下さいますようお願いいたします。

記

調査票提出期限

平成16年12月27日まで

調査対象期間

調査の対象となる期間は平成15年度(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)の1年間です。

調査対象工場・事業場

本調査では水質汚濁防止法に定める特定施設を有する工場又は事業場のうち一律排水基準が適用されるものを対象としています。(日間平均排水量50m³以上の工場又は事業場及び有害物質を排出するおそれのある工場又は事業場)

調査票の問合せ先
ます。

質問等の一切は下記(株)プラトー研究所が一括して対応させていただきます。

会 社 名：株式会社 プラトー研究所
住 所：〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目2番9号 22山京ビル
電 話 番 号：03-5272-1760 (受付：月曜日～金曜日 9:30～12:00, 13:00～17:00)
F A X：03-3232-6818 E-mail：mizu@plato.co.jp
担 当 者：丸山、檜山
なお、ホームページ(http://www.plato.co.jp/mizu/index_mizu.html)でも、記入方法等をご案内しております。

本調査は、環境省水環境管理課(担当：村山、緒方)が(株)プラトー研究所と契約し、実施しています。

【調査票の記入要領】

太枠で囲まれた欄のみ記入してください。また、この調査票は、電子計算機で集計するために、数字の記入欄をマス目にしてあります。従って、数字は1文字につき1マスを用いて、小数点があれば、小数点も1つのマス目を使ってください。

記入欄のうち ~ に設けてある網かけ欄に打ち出しているデータは、前回調査(平成15年度実績調査)においてご記入頂いたものです。このデータに変更がある場合は、その上欄に新たなデータを記入してください。もし、変更が無ければ無記入のままにしてください。なお、前回のデータの打ち出しがないものについては新たに記入をお願いします。

以下、記入に当たっての細部説明を各項目ごとに述べますので充分ご理解の上、記入してください。

1. 工場・事業場の概要

工場・事業場名
所在地
記載担当者 } 打ち出している内容をご確認ください

記載内容について問い合わせる場合のために設けたものですから実際に記載いただいた方を楷書ではっきりと記入してください。前年度調査の結果等をもとに各事業場5つまで印字されていますが、該当しないものがあればそれぞれ左の 内に×を記入してください。また、主に行われている事業で記載されていないものがあれば、その内容を一番下の欄に記入して下さい。この場合、産業分類番号が分かる方は左の4桁の欄に番号を記入して下さい。

なお、産業分類主なものを5つまでデータ化しますので、既に産業分類が5つ記載されている場合は、削除して良い産業分類の左の 内に×を記入して下さい。

稼働コード 平成16年3月31日現在の事業場の稼働状況を下記り選んで適当な番号に を付していただきますが、あらかじめ「1」に が付してありますので、「1」以外の場合のみ、 を一のように抹消した上で、該当するものに を付してください。

なお、分流式下水道に全量排水する事業場も調査対象外ですので、「2」に つけてください。

稼働状況	稼働コード
稼働(今回の調査対象)	1
下水道に全量接続 (公共用水域への排出はない)	2
H16.3.31現在建設中で稼働していない	3
休止(稼働を再開する見込みはあるが停止)	4
廃止(稼働を再開する見込みはない)	5
その他(誤って郵送されてきた等)	9

事由発生年月 が「1：稼働」の場合は記入する必要はありません。それ以外の場合、事由の発生した年月をご記入ください。なお、稼働コード3(建設中)の場合は、稼働予定年月を記入してください。はっきりしない場合はおよその時期で結構ですが、届出等を提出した日を参考にするようにしてください。

で「1：稼働(今回の調査対象)」以外を選択された場合、以下は記入する必要はありません。

以下、 で1：稼働と記入した事業者のみ記入して下さい。

~ 規模の指標 すべて平成16年3月31日現在で下記により記入してください。
~ については把握可能な範囲での報告でも構いません。
延床面積
工場又は事業場の建築物の総延床面積を記入してください。
住宅団地等の場合は、関係している住宅の延床面積の合計を記入してください。
従業員数等
従業員数(常用労働者と個人事業主及び無給家族従業員の合計)を記入してください。水道施設の場合は給水人口、集合型生活排

水処理施設(下水道終末処理施設、集落排水施設、コミュニティプラント、浄化槽など)の場合は処理対象区域の利用人口(オフィス、学校の場合は従業員、職員及び生徒の合計)を記入してください。
出荷額等

平成15年度(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)の1年間における工場又は事業場の出荷額(出荷額がない場合、収入額、年間予算額、年間取扱額等)を1万円単位で記入してください。なお、住宅団地の場合は記入は不要です。

～ 飼育頭数

畜舎のある事業場の場合のみ記入してください。平成15年度(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)の1年間における通常の家畜の飼育頭数を頭の単位で記入してください。

その他の指標

記入の必要のある工場又は事業場については、記入していただく指標とその単位がすでに印字されています。印字がない場合は記入していただく必要はありません。また、し尿処理場の場合、指標が「浄化槽の処理対象人槽の合計」、単位が「人槽」と誤って印字されていることがあります。その場合は印字を抹消した上で、受入し尿量(kl/日)を記入してください。

～ 稼働状況

工場又は事業場全体の稼働状況を把握するものです。複数設備を有する工場又は事業場はいずれか一つでも施設が稼働していれば稼働日数・稼働時刻に計上して下さい。

月別稼働日数

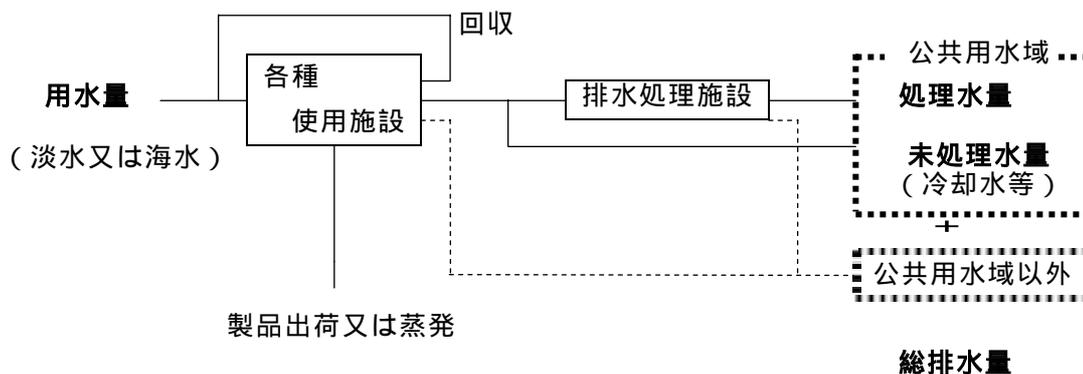
平成15年4月から平成16年3月までの各月の施設の稼働日数をご記入ください。

稼働時刻

平均的な日について工場又は事業場の稼働時刻を0時(午前零時)から24時(午後12時)で記入してください。終日稼働している場合は、始時を0:00終時を24:00としてください。

2. 用排水量・排水処理方法

ここでは、1日当りの用排水量(平成15年4月1日から平成16年3月31日までの1年間に、この事業所の使用、排出した用排水量を操業日数で除したもの)について、用水量、総排水量、処理水量及び未処理水量に分けて記入してください。ただし、処理水量、未処理水量は河川等の公共用水域への排出分のみ記入してください。



注1) 公共用水域とは、河川、湖沼、港湾、沿岸海域その他公共の用に供される水域及びこれに接する水路等で下水道以外のものをいいます。

2) 水道施設(64の2(水質汚濁防止法施行令別表第1の特定施設番号。以下()内の数字において同じ。))については、用水量には浄水される水量を含みます。

3) し尿処理場(72)、下水道終末処理場(73)については、は処理対象となる受入し尿、下水の量を含みませんが、希釈水等として使用する水は含むこととします。

ただし、～ は事業場から排出される水すべてを対象とします。

4) 廃油処理施設(70)、産業廃棄物処理施設(71の4)、し尿浄化槽(72、81、92)、共同処理施設(74)のみが設置されている事業場については、上記3)に準じて、処理対象として受け入れる廃油、廃酸・廃アルカリ、し尿等又は特定事業場から排出される水は にも含みませんが、希釈水等として使用する水は含むこととします。

ただし、～ は工場又は事業場から排出される水すべてを対象とします。

排水処理方法

各排水口から排水処理を行って排出を行う場合、その主な排水処理方法に対応するコードを下記の表から選んで記入してください。また、散水ろ床のようにろ過槽における生物化学的除去を主として期待するろ過は生物処理(コード「01」又は「02」)として扱ってください。

(排水処理方法の処理コード一覧)

排水処理方法の種類	処理コード
活性汚泥	0 1
その他の生物処理	0 2
凝集沈澱、凝集浮上、加圧浮上	0 3
砂ろ過	0 4
オゾン処理	0 5
活性炭	0 6
油水分離	0 7
その他の高度処理	0 8
沈澱、中和、無機物の除去を主目的とした処理等(上のいずれにも該当しない場合のみ)	0 9

3. 排水濃度等

ここでは工場又は事業場の排水口からの排水について記入していただきます。ただし、ここでの排水口とは、工場又は事業場から河川や海域等の公共用水域に排出される全ての部分_を指します。特に、雨水排水など直接事業に関係のないものも含むのでご注意ください。

21排水濃度等

平均的な排水濃度(1年間の平均値など)を記入してください。ただし、定量限界以下の場合は、記入欄に「ND」と記入してください。なお、事業場内に公共用水域に排出する排水口が複数ある場合、平均的な排水濃度は、工場又は事業場にある全ての排水口からの排水濃度とそれぞれの排水口からの排水量から次のように平均値を算出してその値を記入して下さい。なお、網かけ欄に打ち出しているデータは、前回調査(平成14年度実績調査)においてご記入いただいたものであり、参考にして下さい。

(平均値の算出方法)

(排水口1)排水量 Q_1 排水濃度 C_1

(排水口2) 排水量 Q_2 排水濃度 C_2
 (排水口3) 排水量 Q_3 排水濃度 C_3
 : : :
 (排水口N) 排水量 Q_N 排水濃度 C_N の場合、
 平均的な排水濃度 C は

$$C = \frac{Q_1 \times C_1 + Q_2 \times C_2 + Q_3 \times C_3 + \dots + Q_N \times C_N}{Q_1 + Q_2 + Q_3 + \dots + Q_N}$$

となります。

ただし、排水濃度が定量限界以下 (ND) の場合は、排水濃度は 0 として取り扱ってください。

注) 水素イオン濃度 (pH) については、1 ~ 14 の範囲内で数値を記入して下さい。

(この範囲を超える数値は存在しないためです。)

大腸菌群数の単位は $\times 1000$ 個 / ml であり、記入の際注意して下さい。

(例: 500 個 / ml の場合 0.5 と記入して下さい。)

4. 有害物質使用・製造の有無、排水濃度等

ここでは工場又は事業場全体について記入していただきます。なお、調査票に記載している項目については別の呼び方が用いられることがあります。下記に代表的な例を表記しましたが、該当する物質がないか十分にご確認いただきますようお願いいたします。

(有害物質の別名の例)

項番	項目名	別名の例
03	有機燐化合物	パラチオン、メパパラチオン、メルジメトン、EPN
10	トリクロロエレン	トリレン、三塩化エレン、三塩化エテン、 イソトリクロロイド
11	テトラクロロエレン	パーレン、四塩化エレン、パークロロエレン
12	ジクロロメタン	塩化メレン、ジクロルメタン、メレンクロロイド、 二塩化メレン、メレンジクロロイド
13	四塩化炭素	四塩炭、四クロロメタン、ペンゾホルム
14	1,2-ジクロロエタン	二塩化エタン、二塩化エレン、エレンジクロロイド
15	1,1-ジクロロエレン	クロロエレン、1,1-ジクロロエテン、塩化ビニリデン、 ビニレンクロロイド
16	シス-1,2-ジクロロエレン	シス-1,2-ジクロロエテン
17	1,1,1-トリクロロエタン	メチルクロロホルム
18	1,1,2-トリクロロエタン	-トリクロロエタン
20	チウラム	テトラメチルチウラムジスルフィド、グリーンチオノック、 チオノック、チウラミン、ホマゾールEF
21	シマジン	2-クロロ-4,6-ビス(エチルアミノ)-s-トリアジン
22	チオベンカルブ	S-4-クロロペンジル=N,N-ジエチルチオカルバマート
24	セレン	セレンウム

22使用の有無、23製造の有無、24排出方法について、前回調査において回答いただいた項目には、あらかじめ回答欄に がついています。当該箇所を訂正する場合は を—と抹消した上で、該当するものに を書いてください。

- 22使用の有無 当該物質を使用している場合、量の多少にかかわらず、「1」を で囲んでください。使用していない場合は「2」を で囲んで下さい。また、当該物質を原料とする製品を使用している場合も使用しているものとみなします。
- 23製造の有無 当該物質を製造している場合、量の多少にかかわらず、「1」を で囲んでください。製造していない場合は「2」を で囲んでください。また、当該物質を含む製品を製造している場合も製造しているものとみなします。
- 24排水の排出方法 それぞれの有害物質を含むおそれのある水がどのように処理されているか下記の中から該当するものを選んでその数字を で囲んでください。
使用も製造もしていない項目は空欄としてください。

排 出 方 法	番 号
(処理した後)公共用水域に排出	1
廃棄物処理業者による回収等	2
下水道に排出	3
その他	4

- 25排水濃度 工場又は事業場からの排水水について排水濃度を分析している項目があれば、その項目について排水濃度を記入してください。ただし、定量限界以下の場合は、記入欄に「ND」と記入してください。また、排水濃度データが複数ある場合は、平成15年度(平成15年4月1日から平成16年3月31日)のデータのうち最大のものを記入してください。網かけ欄に打ち出しているデータは、前回調査(平成15年度実績調査)においてご記入いただいたものであり、参考にして下さい。 なお、排水濃度を分析していない項目については、空欄としてください。

その他、不明な点等ございましたら問合せ先にお問い合わせいたします。

ご協力ありがとうございました。